

2014年7月18日、結婚して丸4年。待望の赤ちゃんを出産しました。

緊急帝王切開となり、取り上げてもらう際に息子は羊水を飲み込んでしまい、一過性多呼吸となりほんの少しの対面の後、息子はNICUへ即入院となりました。

その日、私は息子と会う事もできず、先に様子を見に行った主人に息子の写真を見せてもらうと、何本もの管につながれ、苦しそうで痛々しい姿が写っており、とてもショックで息子に申し訳ない気持ちになりました。動けない私は、息子の事が心配なのと会えない寂しさと、術後の痛みと闘うしかなく、眠ることも出来ませんでした。

次の日、我が子を見舞いに行きましたが、管につながれた状態ですので抱っこもできず、息子にも寂しい思いをさせてしまいました。

その翌日念願の初めての抱っこ!!なんとも言えない幸せなひと時でした。

その後、幸いにも息子は順調に回復し、5日でNICUを退院することが出来ました。

私には出産前から不安に思っていた事があります。それは、左の乳首が陥没で右側が短い事です。妊娠中に目にした本にも陥没だと授乳は大変困難と書いてあり、私には母乳育児はやっぱり無理なのかな?とっていました。

退院後、息子との生活が始まりましたが、案の定おっぱいをくわえさせるのに毎回格闘。息子も初めは一生懸命大きく口を開けてくれていたのですが、おっぱいが硬いうえに乳首も無い...今思い返すとうまくいく訳もないのですが...。息子は毎回大泣きしておっぱいを嫌がるようになりました。

産院で授乳指導を何度か受けましたが、その時はうまくいっても家に帰ればまた出来なくなっており、私も授乳が苦痛で、泣かれる度に心が折れそうになり、どうしたら良いのか分からない状態でした。乳頭保護器を使い、何とか授乳出来るようにはなりましたが、保護器がすぐに外れ落ちたりして、スムーズに進まない事も多々あり、面倒に感じていました。おっぱいの量も少ししか出ていないように見え、母親からも「足りていないのでは?もっとミルクを足した方が良いでしょう」と言われ、適量も分からずどんどん足していました。

産後一ヶ月を過ぎた頃、妊娠中にお世話になった助産師の安宅さんから電話を頂き、授乳がうまくいっているか心配してかけてきてくださいました。うまくいっていない事を話すと、「授乳を診てくださる良い先生をご紹介します。とても信頼出来る先生ですよ。」と言われ紹介されたのが下園先生だったのです。

早速下園先生に連絡をとり、開業されたばかりの相談室を訪ね、授乳を診ていただきました。

息子を縦抱きにし、これまで使っていた保護器を使わずに、直におっぱいをくわえさせ、息子はそのまましばらく泣いていましたが、息子もくわえるコツがわかったようで、その後おっぱいはずしてはくわえさせる事を何回か繰り返してみましたが、その度にうまくくわえる事が出来たのです!!

夢のような光景に私は感激し、「私のおっぱいでも大丈夫なんだ~!!」と涙が出そうになりました。先生は、「扁平だろうと陥没だろうと、赤ちゃんはおっぱいをちゃんと飲んでいくんです。」とおっしゃり、下園先生に出会えて本当に良かった!と思いました。

ミルクを足す適量も教わり、出ないおっぱいと思い込んでいた私ですが、だんだんミルクの量は減っていき、母乳だけで十分足りるまでになりました。下園先生のおかげで、あんなに苦痛で悩みだった授乳がこんなに楽で幸せな時間に劇的に変わり、先生にはいくら感謝しても足りないくらいです。

授乳がうまくいく事で、不安だらけだった育児に自信を持てるようになり、もし下園先生に出会っていなければ...と想像するとゾッとします!私のように陥没や扁平で悩んでいる方があれ

ば、是非下園先生に診ていただく事をおすすめします。私たち親子は、先生のご指導により沢山の幸せを頂きました。母乳育児で赤ちゃんとのかけがえのない時間を過ごす事が出来、本当にありがたい限りです。

私はもうすぐ第二子を出産します。下園先生にまたお世話になります。先生がいてくださるので本当に心強いです。

下園先生には、これからも悩める母子を一人でも多く救っていただきたいですし、先生のような経験豊かな助産師さんの輪が広がっていく事を願います。

下園先生、いつも本当にありがとうございます。これからも沢山お世話になるとと思いますが、どうぞよろしく願いいたします。